
Catch the eye 2016年4月

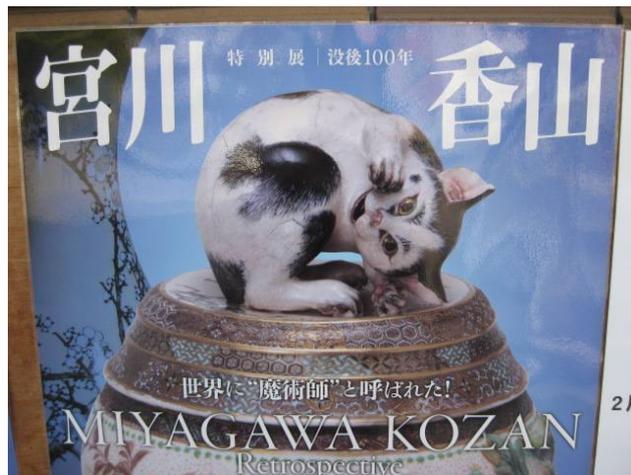
2016/4/1 (金) ドラマティック 2016年度の始まり。今日の大阪は曇り時々雨。それほど強く降らないことを願う。桜の見頃は明日、明後日。桜が咲いて、皆じっとしてられない様子、あちらこちらから桜見の誘い。しっかりのっかる。

「そう、それはよかった、そういう展開とは」。身の丈にあったカタチで起業して7年、いつになく逸る気持ちで近況報告をする女性。彼女の人生が動き出したと感じた。今後の展開が想像できる。

偶然が重なり（そう思えて）、新しい機会に出会うとき、それは自分にとって新しい世界が訪れようとしているとき。もっと先の未来から振り返ると、あの時が今につながる始まりだったと思うような。

話を聞きながら、うれしくなった。自分自身が経験しているから、過去の自分をみるような気持ちになったのかもしれない。人ごとながら、新しい未来を拓けるというのは、ドラマティック。

春、ドラマの展開をたのしみにしよう。



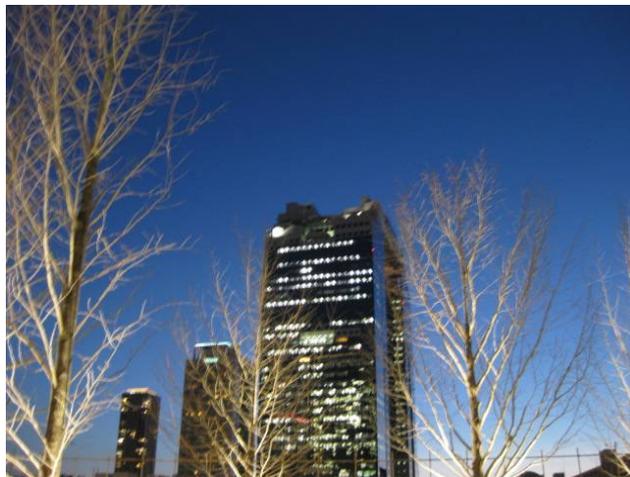
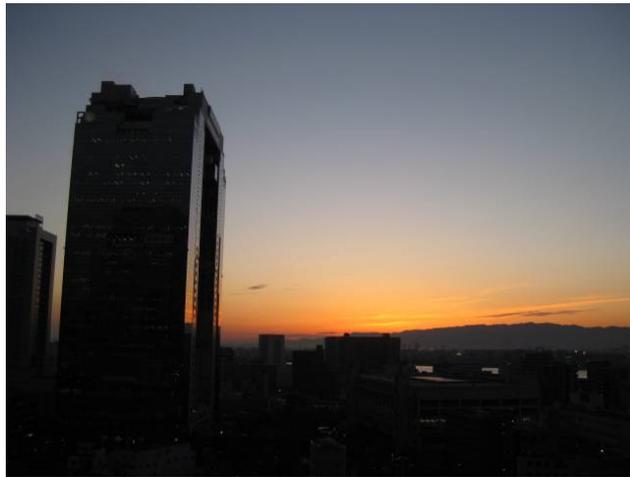
2016/4/5
(火)

春本番

前日の雨が上がり、桜満開のタイミング、北山の植物園、蹴上、そして梅田の夕景を望み、春本番を心身にとりこむ。







2016/4/7
(木)

街に世相

よく降る。朝からやまない雨。ソメイヨシノはこれで散り、明日から始まる造幣局の通り抜けは、雨あがりのすっきりした姿を見せてくれるはず。人が多いから行くことはないが、行くなら明日初日がよさそう。

“おたがいさまなのだから、そんな不機嫌に回りを押し付けなくても・・・”。朝のラッシュ、女性専用車両も超満員。後ろからどんどん押してくる、それに身をまかせて流れて、あまり身動きしないのがラッシュ時の車内マナー。

なのに斜め後ろの一人が腕に力を込めて、体ごとを左右に動かし、周りを蹴散らす。すぐ前の人は痛かったのではないか。もう一度同じことをやったなら、言っていた、「おたがいさまじゃないですか?」。こういう時は、丁寧に言わなければいけない。

もし言ったとしても、「おたがいさま」の概念を知らない人もいるかしらと思う今の時代。日本は高コンテクスト社会と知られている。言わなくても回りの状況を読みとり、どうふるまえばいいかがわかる。でもこれからはどうだろう。ちなみに、ドイツは日本の対極にあるんだとか。

友達関係などのごく狭い範囲では異常に場の空気を気にするのに、社会一般の公共の場となると、その反動かと思うほど、まわりに気をとめない。とめたくないという心理もあるのかしらと思うことがある、電車の中で、スマホをずっといじっている人は。

ともかく、街には世相を映す光景がそこかしこ。観察し甲斐あり。

2016/5/4
(水)

後記

7日に書いた翌週14日の夜に熊本で6強の地震。のちに震度7と修正され、これは余震で、16日の夜中にまた震度7、これが本震。以来余震が1000回を超える事態。

14日の日中、そんなことになるとは思わず事務所で仕事をしていて、いよいよパソコンが言うことをきかなくなり、新しいものを買う算段。まずは梅田のヨドバシカメラ、ソフマップ。日本橋にも足を運んだものの、決め手に欠いてスルー。

その間に、どうにかこうにか、「自業のすすめ」抄録をまとめ、編集し終えて、4月22日にすべてをホームページへアップ。過去2年半のマイプロジェクトに区切り。元原稿からするとほぼ三分の一のボリューム。それもよし。

その後公私ともに立て込み、パソコン探しは中断。大型連休中には平常どおり仕事できる状態にすべく、5月2日に再び日本橋へ。開店からまもない時間がよかったのか、当方の条件ピッタリのノートパソコンを見つけ、即購入。翌3日午後に、ホームページの更新もできて、まずはこれまで同様のネット環境整う。